

○知事コメント

本日、国土交通省より高速道路の暫定2車線区間の4車線化の候補箇所が公表され、紀勢自動車道（大宮大台IC～紀勢大内山IC）の一部区間（約6.2km）が選定されました。

この区間は、現在暫定2車線で運用されていますが、将来予定されている大規模な修繕工事に伴い長期間の通行止めが必要となることから、その際にも代替路として通行が可能となる、残る2車線の整備が必要となっていました。

また、当該区間を含む紀勢自動車道は、発生が危惧される南海トラフ地震などの大規模災害発生時に、東紀州地域の救援・救助にかかる櫛の歯作戦やその後の復旧復興に重要な役割を担うことから、三重県として、市町の皆さまとも連携し、4車線化の早期事業着手を求めて要望活動に取り組んできたところです。

こうした中、当区間が候補箇所に選定されたことは、東紀州地域の安全・安心を確保するうえで非常に意義深いことであり、たいへんうれしく思うとともに、ご尽力いただいた関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

今後は、勢和多気JCTから紀勢大内山IC間に残る暫定2車線区間についても早期に4車線化が図られるよう、引き続き取り組んでまいります。

令和2年 3月 10日 三重県知事 鈴木 英敬